

- 歴史講座 13:30～15:00**
- 講座番号① **人がつなく源氏物語①「孝標女の『源氏物語』へのあこがれ」**  
日 時:5月22日(土)  
講 師:伊井 春樹(当館名誉館長)
- 講座番号② **「大洲八幡神社のお成り～調査事業でわかった歴史的価値～」**  
日 時:7月3日(土)  
講 師:白石 尚寛氏(大洲市教育委員会)
- 講座番号③ **人がつなく源氏物語②「建礼門院(平清盛女)の『源氏物語絵巻』**  
日 時:7月17日(土)  
講 師:伊井 春樹(当館名誉館長)
- 講座番号④ **「秋山真之と海軍兵学校」**  
日 時:7月31日(土)  
講 師:川島 佳弘氏(坂の上の雲ミュージアム)
- 講座番号⑤ **人がつなく源氏物語③「新しい『源氏物語』本文の誕生～定家本と河内本」**  
日 時:9月25日(土)  
講 師:伊井 春樹(当館名誉館長)
- 古文書講座 13:30～15:00**
- 講座番号① **「新谷藩家老領内視察の記録を読む①～岩谷口村庄屋日野家文書より～」**  
日 時:8月29日(日)  
講 師:安永 純子(当館専門学芸員)
- 講座番号② **「新谷藩家老領内視察の記録を読む②～岩谷口村庄屋日野家文書より～」**  
日 時:9月26日(日)  
講 師:安永 純子(当館専門学芸員)
- 民俗講座 13:30～15:00**
- 講座番号① **「佐田岬半島の民俗」**  
日 時:6月5日(土)  
講 師:高嶋 賢二氏(町見郷土館館長兼主任学芸員)
- 講座番号② **「愛媛・棚田の景観と役割」**  
日 時:7月10日(土)  
講 師:河野 豊氏(棚田学会会員・棚田写真家)
- 考古講座 13:30～15:00**
- 講座番号① **テーマ展関連講座「青銅器からみた東予・中予・南予」**  
日 時:7月18日(日)  
講 師:吉田 広氏(愛媛大学ミュージアム)
- 講座番号② **テーマ展関連講座「愛媛における弥生社会の形成と青銅器」**  
日 時:8月8日(日)  
講 師:柴田 昌児氏(愛媛大学埋蔵文化財調査室)

- 体験講座**
- 講座番号① **史跡めぐり** バスツアー  
「四国中央市の新博物館&古墳巡り」  
日 時:5月29日(土) 8:00～18:00  
対 象:愛媛県内の小学生～一般  
※小学生は保護者同伴  
参加費:5,000円～6,000円(予定)  
【締切】:5月15日(土) ※高低差がある所を歩きます。
- 講座番号② **「一閑張り～かごバック作り～」** 2週連続講座  
定員15名  
第1回上張り 6月12日(土) 13:30～15:30  
第2回仕上げ 6月19日(土) 13:30～15:00  
講 師:木城 香代氏(手仕事工房 雅楽多や主宰)  
対 象:小学生～一般 ※小学生は保護者同伴  
参加費:2,500円  
【締切】:5月29日(土)
- 講座番号③ **「親子で下駄作り～下駄にお絵かき&花緒すげ体験～」**  
定員10組(1組2名)  
日 時:6月13日(日) 13:30～15:30  
講 師:齊藤 大地氏(えひめ伝統工芸士)  
対 象:年長～小学生とその保護者  
参加費:2,500円 ※お子さま1足分を作ります  
【締切】:5月30日(日)
- 講座番号④ **「下駄作り～花緒すげ体験～」**  
定員10名  
日 時:6月27日(日) 13:30～15:30  
講 師:齊藤 大地氏(えひめ伝統工芸士)  
対 象:一般  
参加費:3,000円  
【締切】:6月13日(日)
- 講座番号⑤ **宇和民具館企画展「バンと昭和」を見る** 現地集合  
定員25名  
日 時:6月20日(日) 13:30～15:00  
講 師:仙波 香菜子氏(宇和民具館職員)  
対 象:小学生～一般 ※小学生は保護者同伴  
参加費:500円  
【締切】:6月6日(日)

**申込方法** 希望する講座名・講座番号とご住所・お名前・年齢・電話番号など必要事項を記入し、開講日の1週間前までにハガキなどでお申し込みください。※定員に満たない場合は、申込締切後にも受け付けます。

**お問い合わせ** 企画普及グループ・歴史文化講座係  
TEL (0894) 62-6222 FAX (0894) 62-6161

**常設展観覧料改定のお知らせ**

2021年4月1日から常設展の観覧料を右記のように改定いたします。何卒ご理解いただきますようお願い申し上げます。

(改定前) 一般:520円 65歳以上:270円  
(改定後) 一般:540円 65歳以上:280円

**展示スケジュール**

2021.4-2022.3

2021	特別展 「シルバニアファミリー展」 3月24日(水)～5月30日(日)	常設展 えひめの歴史と文化 新常設展 密・空と海ー内海清美展
4		
5		
6		
7	特別展 「ふわふわシナモロール展」 7月3日(土)～8月31日(火) ▶夏休みイベント期間 8月13日(金)～8月15日(日)	
8		
9		
10	特別展 「大名の船ー海の参勤交代ー」 9月25日(土)～11月28日(日) ▶開館記念日イベント 11月14日(日)	
11		
12		
2022	▶新春イベント2022 令和4年1月2日(日)・3日(月)	
1		
2	特別展 「古代文学と伊予国ー百人一首から郷土かるたまでー」 令和4年2月11日(金・祝)～4月7日(木)	
3		

**ご利用案内**

■開館時間 9:00～17:30(入館は17:00まで)  
■休館日 月曜日(下記カレンダーをご参照ください)  
■観覧料

	区分	一般	団体(2割引)
常設展・ テーマ展	大人(高校生以上)	520円 (※540円)	420円 (※440円)
	中学生以下	無料	無料
	65歳以上	270円 (※280円)	220円 (※230円)
新常設展		観覧無料	

※2021年4月1日から上表(※)内のように常設展観覧料が変更いたします。  
※特別展の観覧料はその都度定めます。 ※団体は20名以上です。  
※テーマ展をご観覧いただくには、常設展示観覧料が必要です。

**Museum Calendar 2021.4-6**

4月							5月							6月						
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
4	5	6	7	8	9	10	2	3	4	5	6	7	8	6	7	8	9	10	11	12
11	12	13	14	15	16	17	9	10	11	12	13	14	15	13	14	15	16	17	18	19
18	19	20	21	22	23	24	16	17	18	19	20	21	22	20	21	22	23	24	25	26
25	26	27	28	29	30		23	24	25	26	27	28	29	27	28	29	30			

■休館日 ■臨時休館日

**愛媛県歴史文化博物館**  
MUSEUM of EHIME HISTORY and CULTURE

管理運営:指定管理者 いよつ総合企画  
〒797-8511 愛媛県西予市宇和町卯之町4-11-2 電話:0894-62-6222  
【ホームページ】 <http://www.i-rekihaku.jp>  
●発行日 令和3年3月29日 ●編集/発行 愛媛県歴史文化博物館

歴博だより

Museum of EHIME History and Culture News



四国初開催 特別展

シルバニアファミリー展

誕生から現在にいたるまで森の仲間たちの素敵な物語

2021 3/24[水]～5/30[日]

休館日:4月12日(月)、19日(月)、26日(月)、5月6日(木)、10日(月)、17日(月)、24日(月)  
開館時間:9時～17時30分(入館は17時まで)  
観覧料:大人(高校生以上)1,000円(800円)/65歳以上600円(480円)  
小・中学生500円(400円) ※0は20名以上の団体料金 ※特別展観覧料で常設展もご覧いただけます。

主催:愛媛県歴史文化博物館/協力:日本ドールハウス協会・文化服装学院・武蔵野美術大学・日本工学院専門学校/特別協力:エポック社/企画制作:東映 後援:愛媛県市長教育委員会連合会・愛媛新聞社・南海放送・テレビ愛媛・あいテレビ・愛媛朝日テレビ・愛媛CATV・ケーブルネットワーク西瀬戸・八西CATV・西予CATV・宇和島ケーブルテレビ・FM愛媛・FMいやは

歴史

## 石崎汽船 大阪航路ポスター

年代：昭和9(1934)年  
法量：74×55cm  
所蔵：当館蔵



今回は、石崎汽船のポスターを紹介します。石崎汽船は、明治23(1890)年に芸予航路、同36年に尾道航路を開設しました。特に、尾道で国鉄に連絡する尾道航路は、松山から大阪・東京への最短ルートとして人気を呼びました。しかし、昭和2(1927)年の国鉄松山駅開業、同5年の昭和恐慌などにより利用客が減少します。そこで、チャーター船や観光船に力を入れるとともに、同9年8月に大阪航路(三津浜～今治～大阪)を開設しました。その背景には、大阪商船の別府航路が今治に寄港していましたが、天候の関係で月に数回寄港できず、不便をきたしていたという事情がありました。

本資料によると、10月20日17時三津浜発、翌朝大阪着。22日18時大阪発、翌朝三津浜着。仕事や観光で2日間大阪に滞在できることを売りにしています。片道2円50銭、往復4円50銭は相場の半額でした。煙突に屋号の「マルイチ」をつけた船が描かれています。ポスターに記載されている「純客船第十一相生丸」を描いたものと思われます。相生丸は大正11(1922)年に竣工、尾道航路に就航しました。速力13ノット(時速約24km)、定員約300人、浴室、食堂などを備えた豪華船でした。大阪航路は不定期便であったため、尾道航路の合間を縫って配船されたのでしょう。

本資料については、今年度「裏打ち」(資料の裏に和紙を張り劣化を防ぐ)という補修を行いました。補修にあわせて社史『海に生きる』や『海南新聞』を調査したところ、このポスターが作成されたのは、大阪航路開設直後の昭和9(1934)年であることがわかりました。本資料には、国鉄の延伸や昭和恐慌などによって経営が厳しくなる中、瀬戸内海の南北航路だけではなく東西航路を開設することによって、活路を見出そうとした愛媛の海運業者の姿が表れています。

(専門学芸員 平井 誠)

考古

## 埋められた常滑焼の壺

出土地：西条市丹原町明穂  
年代：鎌倉時代(13世紀)  
サイズ：器高39.1cm、最大径37cm、口径20cm、底径12cm  
所蔵：個人蔵(当館寄託)

中世に使用された土器の一つに常滑焼があります。常滑焼は、愛知県知多半島に所在する窯で生産された無釉の焼き締め陶器の総称で、中世の窯跡は未発見のものも含めると3000基を超るともいわれています。その開窯は、奈良・平安時代の代表的な古窯である猿投窯の影響を受けて12世紀初頭とされており、主に山茶碗・小皿・片口鉢・壺・甕を生産していました。愛媛県内では今まで32遺跡54個体分が報告されていますが、9割以上は壺・甕の破片であり、時期は13世紀前半～14世紀前半のものが多く出土しています。

本資料は、昭和30年頃に旧丹原町在住の方が、畑を開墾するため同町明穂の丘陵斜面を削平していたところ、偶然に発見したものです。口縁部は逆L字状に屈折し端部上方へ拡張しており、端部外面はわずかに凹線状に窪んでいます。体部は上半で肩が張り、底部は平底となっています。器面の一部に窯壁が付着し、胎調は赤褐色で口縁から肩部と縦半部には緑色の自然釉がかかっています。



▲西条市丹原町出土常滑焼壺

一般的に器高40cm前後の常滑焼の壺は、経塚容器や貯蔵容器、蔵骨器に用いられていた例が多くみられますが、本資料は内部に土師質の筒形土器が入っていたという出土状況から判断すると、経塚容器として使用されたと考えられます。経塚とは、釈迦が入滅した後、世の中が乱れるとした末法の世に、その教えを伝えるため経典を土中に納めたところ。埋納者は釈迦の教えを書写した経典を未来永劫に伝えるため、経典を筒型土器に入れ、さらに堅牢で力量感あふれる常滑焼で覆ったのでしょう。

(専門学芸員 亀井英希)

## 特別展

# シルバニアファミリー展

関連イベントのご案内

Sylvanian Families®

2021年3月24日(水)～5月30日(日)の  
土・日・祝日及びGW期間

受付時間：10:00～11:30 / 13:00～15:30

場所：エントランスホール、こども歴史館

※各ワークショップは材料が無くなり次第終了します。

※各ワークショップの友の会会員割引は期間中1回のみ有効です。



© EPOCH

## シルバニアファミリーの ブローチをつくろう!

パーツを組み合わせて樹脂(レジン)素材  
でかわいいブローチを作ってみよう!  
●材料代/600円(友の会会員は500円)



## アクアビーズで キーホルダーをつくろう!

アクアビーズでシルバニアファミリーの  
仲間たちを作ってみよう!  
●材料代/400円(友の会会員は350円)



## ウォールラックに 小さなお庭をつくろう!

お家にあるお気に入りのフィギュアを  
飾って楽しめるよ!  
●材料代/500円(友の会会員は450円)



## オリジナルヨーヨー をつくろう!

木製のヨーヨーに絵付けをして  
遊んでみよう★  
●材料代/300円(友の会会員は250円)



## れきはくシルラリーに参加しよう!

ワークショップに1つ参加するごとに坊シールがもらえます。  
10枚集めると歴博グッズやワークショップ無料券がもらえるよ!  
大人も参加できるので是非ワークショップ受付でお声がけください!



## れきはくのあしあと

令和2年度はコロナウイルスで予定していた展示やイベント、講座が中止になったり、博物館が臨時休館することになったりと今までに経験のないことが起こった年でした。歴博では対策を講じながら、5月から特別展をスタート。7月からは講座も無事に再開することができました。今後でもできる限りの対策を行い、みなさまから歴博は安心して楽しめる博物館、と思っただけよう努めたいと思います。

12月、1月にはテーマ展「疫病退散」に合わせて「白澤キーホルダーをつくろう!」を実施しました。「白澤」は、中国の想像上の神獣で、「白澤」を描いた図を持っては災難を免れるとされます。身近に起こっていることへの関心の高さからなのか、小さなお子さんから大人まで予想以上にたくさんの方にご参加いただきました。今ところ「アマビエ」ほどのブームは起こっていませんが、スタッフが作成した「白澤ってなんだろう」という説明文を親子で熱心に読んでいた姿や、自分用だけでなく家族や友人にプレゼントしようとキーホルダーを何個も作っている方もおられました。このキーホルダーをきっかけに「白澤」がじわじわと広がっていくのかもしれない。



▲プランで作った白澤キーホルダー



▲白澤ってなんだろう